

相互交流 第23回 韓国ユネスコ 大邱協会と

広島ユネスコ協会は、1988年から8年間の北京ユネスコクラブ協会との姉妹交流に続いて、2000年から韓国ユネスコ大邱協会との親善・相互交流を開始し、本年度で23回目を数えます（12月5日から同8日まで）。

平和の鐘を鳴ら

2025年

○8月15日(金)午前10時～
○広島平和記念公園「平和の鐘」鐘楼前で
高校生と会員等が、戦争と核兵器使用等のない平和な世界の実現を目指し、平和についてスピーチし、平和についての思いをアピールします。

役員紹介

総会で承認された役員（任期は
2025・26年度）は、次の
通りです

◎部会長	○副部会長	☆新任
名譽会長	松井一實	
名誉顧問	平岡敬	秋葉忠利
顧問	亀井章	中山修一
参与	藤井正一	井尾義信

古田碩永（総務・組織・広報）

部会担当 番口實（平和・世界遺産部会担当）
（教育部会担当）湯浅克廣
（青少年育成部会担当）横佩智恵
幸子（文化部会長兼務）☆高田政木恵美子（国際部会長兼務）
（組織部会）
◎☆伊藤隆宣 ○児玉賢司
中道紘二
「青少年育成部会」
◎☆渡邊優子 ○☆坂口英司
（教育部会）
○坂本美智子 ○☆岡本洋子
足立柳子
「文化部会」
◎（兼）高田幸子 ○川迫輝嗣

大村直生	木船裕美	☆浜田道子
（国際部会）		
◎（兼）政木恵美子	○☆吉岡	
康行 山本朝世 平井勇		
（平和・世界遺産部会）		
◎内田一士 ○岩田公正 中本		
信子 阿部頼繁 ☆ファン・デル・		
ドウース瑠璃		
（広報部会）		
○藤川和康		
岡平裕次		
清水昌法		
（事務局） 森木学（事務局長）		
（兼） ☆平井勇		
（監事）		
國田繁		
☆須藤友美		

年退職の9年間館長職にいました。退職の日、10数社で記者会見をし、最後に2人の記者から「畠口さん、あなたの父さんは無残にも原爆で死んでしまった。あなたは、その様子をお腹の中から見て、その事実を国内外の方々に伝える運命のもとに生まれてきました」と、少し救われました。父が亡くなつたのが80年、私が80年になります。父の年齢もその数字

被爆 80 周年 私の想い

その事実をかみしめ
る時、心の底から湧き上がる
深い感謝を、どう伝えたらよ
いでしょう。

UNESCO憲章前文には、こう
記されています。『戦争は人の
心の中では生まれるものである
から、人の心の中に平和のと
りでを築かなければならぬ』
と。

「とりで」を築く旅は
これからも続きます。新し
い歩き、どうぞ一緒に。

自身が大やけどを負い、或いは家族を焼き殺されたヒバクシシャは「核兵器を使ってはならない」「戦争をしてはいけない」と声を上げます。他者の未来に、この様な悲劇を繰り返さないようにと必死で。
投下したアメリカを憎め」とは言わはず。お陰で私は特定の国に。への憎悪を心に刻まず。

理事 大村直生さん（文化部会）

宗希環が、
1420年
今回は

使が訪れた鞆の浦、釜山の倭城を築城した毛利輝元が築城した広島城など日韓共通の歴史をもつ史跡を訪れ、とともに学びあいます。世界中で混乱と分裂が深刻化している今こそ、市民レベルの交流の意義は大変大きいと考えます。

（広島ユ協が協力）が、3月26、27日に行われ、被爆体験（講師・石橋紀久子さん）を聴き、ユニタール広島事務所で「広島の原爆からの復興」について講演していただきました。この会合には杉並ユ協の高



(平和・世界
遺産部会)

校生や、広島の崇徳高等学校新聞部のメンバーが参加し、